

2025 年度

事業計画書



2025.3.29 理事会（案）

使命・基本理念

■ 使命

Quality of Life への貢献

■ 基本理念

1. ご利用者の「生命の尊厳」と「人権の尊重」を最優先します。
2. 職員は「信頼と尊敬」の心を持ち、常に「研鑽と人間的成長」に努めます。
3. ご利用者との「相互理解」を深め、「信頼と共生」を価値観とします。
4. 地域社会への「参加」と地域医療・福祉への「貢献」を奨励します。

■ 職員の 5 つの心得

1. 生命は尊くかけがえのない存在である。
2. 人間としてのあらゆる権利を尊重する。
3. 理想社会の実現に向けて、常に向上心を持ち続ける。
4. 常に充実感をもち、明るく行動する。
5. まず、私たちが幸福でなければ、良き医療・福祉サービスは提供できない。

目 次

2025年度 事業展開について	3
1. 事業所の概要	4
2. 配置	5
3. 中長期目標	6
4. プロジェクト	6
5. 会議	7
6. 研修	8
7. めぐみの里 (特別養護老人ホーム)	9
8. たいよう(介護老人保健施設)	11
9. まんぼう(ケアハウス)	13
10. しあわせの里(障害者支援施設)	15
11. らんまん(障害福祉サービス事業所)	17
12. 千葉県中核地域生活支援センター ひだまり	19
13. 鴨川市福祉総合相談センター 天津小湊	21
14. 安房地域医療センター	23
15. 訪問看護ステーション おひさま	25
16. 安房医療福祉専門学校(看護学科)	27
17. 安房医療福祉専門学校南房総校(介護福祉学科・日本語学科)	29
18. 認定こども園 OURS(認定こども園)	31
19. 認定こども園 OURS 館山(公私連携幼保連携型認定こども園)	33
20. OURS baby(企業主導型保育所)	35
21. 家事代行サービス ルアナ	37
22. 労働者派遣事業サンキャリ・有料職業紹介事業サンキャリ	39
23. パークウェルステイト鴨川	41
24. 亀田ホームクリニック幕張・亀田ホームケアサービス幕張	43

2025年度 事業展開について

はじめに

2024年には、診療報酬、介護と障害福祉サービス等の報酬が同時に改定される、いわゆるトリプル改定が行われましたが、人件費や物価の上昇には全く追いつかない微増の改定だったために、多くの医療機関や介護施設の経営は困難な状況に陥っています。

一方、国は失われた30年と言われる低成長の時代から脱却しようと、物価と所得の上昇に向かって舵を切りました。多くの大企業が初任給をはじめとした昇給を表明していますが、公定価格に縛られている医療・介護施設との格差が拡大して、要員の確保が困難になり、医療・介護などの現物給付型社会保障制度の継続にも影響が出てくる可能性があります。

社会保障が崩壊するということは、国の存在意義にも繋がる為、この様な状況は見直されると思われます。この機会に社会福祉太陽会は、もう一度原点に立ち戻り、私たちのMission(使命)やVision(目標)を職員全員が理解・共有し、職員一丸となってこの難局を乗り越え、更に急激に変化している社会に柔軟に対応し、人々の幸せに貢献してまいりたいと思います。

キーワード

- Patient centered care(患者中心の医療・介護)
- 価値の4段階(基本価値、期待価値、願望価値、予想外価値)
- コアサービスとフリンジサービス(home like)
- one to one サービス(moment of truth:決定的瞬間)
- Solution-focused method(目標設定型思考)
- Flexibility(柔軟性、しなやかさ、融通自在)
- Always say yes
- Only oneを作り続ける
- 所有から共有へ・競争から協調へ

1.公私連携幼保連携型認定こども園 OURS 館山

2025年4月に館山中央保育園と北条幼稚園が統合され、定員294名の公私連携幼保連携型認定こども園OURS館山がスタートします。安心して子育てや仕事ができる環境を作るため、5時30分から21時30分まで365日開園し、予約により朝食や夕食の提供も行います。また、看護師が常駐して園児の健康管理も行います。今後は、近隣に園児達の学習塾や様々なサークルを集約したOURSアカデミーを設置し、更なる保護者の負担を軽減すると共に、子供達の情操教育を促進する様な仕組み作りに取り組みます。

2.眼科センター

2025年4月に安房地域医療センター2階の手術室に隣接して眼科センターを開設します。当初は現検診センターの跡地に開設予定でしたが、病院と道を隔てた対側に開設予定の独立型総合健康管理センターの建設が遅れているため、一部仮設で眼科センターを先行して開設します。当センターは専用の手術室を有しており、一般診療から網膜硝子体手術などの高度眼科治療を行う予定です。

3.(仮称)安房総合健康管理センター

建設が遅れている旧ひまわり保育園の北側に開設予定の(仮称)安房総合健康管理センターの建築が開始されます。約1,000m²強の2階建てで2026年春の開設を目指しています。当センターは、外来とは独立して診療機器を有する為、終日の検診業務が可能であり、人間ドックの増患など、御利用者のニーズに応えてまいります。一方敷地は公道を挟んでおりますが、現在と同様に安房地域医療センターと同一事業所として許可されており、保健医療機関として一部の医療機器や検診後のフォローアップなどの保険診療にも共用する予定です。

4.外国人の養成

2024年に亀田医療技術専門学校から移管の形で開設した安房医療福祉専門学校南房総校の日本語学科、介護福祉学科により、外国人の介護福祉士の養成を進めておりますが、少子高齢化、人口減少の更なる進展に対応する為、看護師は基より様々な職種で外国人の招聘や教育を進めて行く方針です。その為に、日本語学科を幅広く活用すると共に、各自治体とも連携し、地域の活性化にも取り組んでまいります。

理事長 亀田 信介

1. 事業所の概要

事業所名	管理者	所在地	電話番号
特別養護老人ホーム めぐみの里	茂木 修	〒296-0124 千葉県鴨川市大幡 1222 番地 1	04-7098-1000
介護老人保健施設 たいよう	西野 洋	〒296-0043 千葉県鴨川市西町 1011 番地 1	04-7093-7711
ケアハウス まんぼう	永井 広雄	〒296-0041 千葉県鴨川市東町 607 番地 1	04-7099-1331
障害者支援施設 しあわせの里	和泉 悟	〒296-0124 千葉県鴨川市大幡 1243 番地 2	04-7098-1110
障害福祉サービス事業所 らんまん	鈴木 晃	〒296-0124 千葉県鴨川市大幡 1245 番地	04-7098-1800
千葉県中核地域生活支援センター ひだまり	香田 道丸	〒294-0014 千葉県館山市山本 1155 番地 安房地域医療センター敷地内	0470-28-5667
鴨川市福祉総合相談センター 天津小湊	石井 めぐみ	〒299-5503 千葉県鴨川市天津 163 番地 1	04-7094-5800
安房地域医療センター	福内 正義	〒294-0014 千葉県館山市山本 1155 番地	0470-25-5111
訪問看護ステーション おひさま	大友 可奈	〒294-0051 千葉県館山市正木 1314 番地 1	0470-29-7868
安房医療福祉専門学校	大塚 逸子	〒294-0007 千葉県館山市腰越 801 番地 1	0470-28-5100
安房医療福祉専門学校 南房総校	亀田 省吾	〒299-2712 千葉県南房総市和田町海發 1601 番地 1	0470-29-3700
認定こども園 OURS	米倉 里奈	〒296-0044 千葉県鴨川市広場 1726 番地 1	04-7099-0800
認定こども園 OURS 館山	米倉 和昭	〒294-0045 千葉県館山市北条 402 番地 1	0470-22-0700
企業主導型保育所 OURS baby	千束 静子	〒296-0044 千葉県鴨川市東町 601 番地 1 Sun OURS 2 階	04-7096-5800
亀田ホームクリニック幕張 亀田ホームケアサービス幕張	本山 哲也	〒261-0014 千葉県千葉市美浜区若葉3丁 目1番地 23	043-307-5735 043-307-8331

2. 配置

		事 業 所 名	正社員	契約	非常勤
本部	経営管理本部	事務	26	1	8.4
		給食	17	1	7.8
		パークウェルステイト鴨川	23	5	4.8
福祉	高 齢 者	特別養護老人ホームめぐみの里	63	7	16.2
		介護老人保健施設たいよう	62	8	18
		ケアハウスまんぼう	4	0	1.2
	障 害	障害者支援施設しあわせの里	35	2	12
		障害福祉サービス事業所らんまん	14	2	9
	相 談	千葉県中核地域生活支援センターひだまり	5	1	0
		鴨川市福祉総合相談センター天津小湊	3	2	0
医 療	病 院	安房地域医療センター	424	33	66
	訪 問 看 護	訪問看護ステーションおひさま	6	0	0
教 育	看 護	安房医療福祉専門学校	13	3	0
	介 護 日本語	安房医療福祉専門学校南房総校	6	3	0.6
子 育 て	こ ど も 園	OURS	49	5	19.8
		OURS 館山	52	1	2.4
	企業主導型保育所	OURS baby	17	3	6
幕張	パークウェルステイト 幕張ベイパーク	亀田ホームクリニック幕張 亀田ホームケアサービス幕張	26	1	4.8
計			845	78	177

3. 中長期目標

競争から協調へ&所有から共有へ

I. 法人使命の「全ての人々の幸福に貢献する」ことを実現するために、地域の介護、福祉の多様なニーズに応えられる人材と、DX や AI を積極的に導入し、業務の削減並びに効率化を行い、職員の精神的・時間的なゆとりを生み出し、介護・福祉サービスの品質向上を実現します。

II. 外国人介護人材の受入・育成を深耕し、日本語能力向上研修、介護技術向上研修、異文化理解研修を含む充実した研修制度のもと、外国人介護福祉士の職場での活躍と地域への定着を促進します。

III. これまで培った経験を活かし、医療・介護の総合的なサービス提供に加え、予防医療や健康増進プログラムにも更に注力し、地域社会との緊密な連携を通して、地域住民一人ひとりのニーズに寄り添いながら、常に進化する最新の医療・介護技術・知見を融合させたサービスを提供することで、健康寿命の延伸と生活の質の向上に永続的に貢献します。

IV. OURS で培ったノウハウと「Challenge」「Global」「Love」の 3 つのコンセプトを柱に、より広範な地域に展開し、社会貢献に努めます。特に、少子化社会に対し貢献していくことを目指し、保護者の就労と子育ての両立を支援する取り組みを強化します。

4. プロジェクト

項目	内容	時期
◆ (仮称)安房総合健康管理センター	高齢社会・健康長寿社会に必要とされる予防機能に関して、県南地域における健康診断の基幹施設として開設する。 健診機能を集約・強化し、事業所健診や人間ドックの拡充とともに、乳がん・婦人科検診など女性検診の受診促進を図り、受診者数の増加につなげる。	2026 年4月

5. 会議

I 理事会の開催予定

開催予定期	議題
2025年 6月 14日	【決議事項】 <ul style="list-style-type: none">・2024年度 事業報告について・2024年度 決算について・理事・監事候補者の選任について・評議員会の招集事項について 【報告事項】 <ul style="list-style-type: none">・職務執行状況(理事長)の報告について
2025年 6月 (定時評議員会終了後に開催)	【決議事項】 <ul style="list-style-type: none">・理事長の選定について
2025年12月	【決議事項】 <ul style="list-style-type: none">・2025年度 補正予算について 【報告事項】 <ul style="list-style-type: none">・職務執行状況(理事長)の報告について
2026年 3月	【決議事項】 <ul style="list-style-type: none">・2026年度 事業計画について・2026年度 予算について
その他必要がある場合に開催	

II 評議員会の開催予定

開催予定期	議題
2024年 6月 28日	【決議事項】 <ul style="list-style-type: none">・2024年度 決算の承認について・理事・監事の選任について
その他必要がある場合に開催(定款の変更、役員等の選任など)	

III 評議員選任・解任委員会の開催予定

開催予定期	議題
2025年 6月	・評議員の選任について
その他必要がある場合に開催	

IV 監査等の実施予定

実施予定期	内容
2025年 5月	・監事監査(定款第18条)
2025年 5月	・会計監査人監査(定款第19条)
未定	・県指導監査
未定(年2回)	・ISO外部審査
毎月	・法人経営会議

6. 研修

開催予定月	研修名	備考
4月	新人研修 BLS 講習会 小児 BLS 講習会 ACLS 講習会	年9回実施 年9回実施 年6回実施
5月	腰痛対策研修 医療安全研修会 第 1 回 千葉県看護学校協議会第 3 回研修会	
6月	役職者研修	
7月	指導職・主担当職研修 日本看護学校協議会中堅看護教員スキルアップ研修会	
8月	担当職・業務職研修 日本看護学教育学会 日本看護学会学術集会 千葉県看護学校協議会 夏期研修会	
9月	管理職研修 災害全体会議 医療倫理研修会	
10月	管理職研修 交通安全研修会 机上シミュレーション(災害訓練) 感染管理研修会 第 1 回	
11月	ISO 研修(初級) 千葉県看護学生研究発表会	
12月	腰痛対策研修 虐待対応研修会 感染管理研修会 第 2 回 接遇研修会 労働安全衛生研修会 第 1 回 千葉県看護学校協議会第 1 回研修	
1月	労働衛生研修	
2月	ISO 研修(中級) 医療安全研修会 第 2 回 個人情報保護研修会 労働安全衛生研修会 第 2 回 千葉県看護学校協議会第 2 回研修	
3月	日本看護学校協議会関東ブロック研修会	

7. めぐみの里（特別養護老人ホーム）

【事業及び定員】

・特別養護老人ホーム	78名	・居宅介護支援（太陽会ケアプランセンターOHANA）
・地域密着型特別養護老人ホーム	20名	・介護予防事業（短期、通所、居宅）
・短期入所生活介護	12名	・鴨川市ひまわり配食サービス
・地域密着型通所介護	18名	

【運営方針】

私たちは、時代の様々な変化にすばやく対応し、高齢者福祉のプロとしてご利用者が生きがいを実感できるよう自立支援介護を目指す。職員一人ひとりが、各々の専門的知識や技術を持ちより、ご利用者やそのご家族の立場に立って物事を考え、チームとしてサービスを提供できるよう努める。また、地域福祉の拠点として、未来の人材育成や地域の方々が安心して老後を過ごせるよう社会貢献していく。

◆ 目標利用率

	2025年度	2024年度（見込）
入所	98.0%	96.9%
ユニット	97.0%	96.4%
短期	87.0%	82.3%
通所	77.0%	76.2%

◆ 良質なサービス提供への取組み

- ご利用者が健康で安らぎのある自立した生活が送れるよう、多職種連携・協力をしながら、日々改善活動に努める。
- ご利用者一人ひとりの残存機能を維持するため、サービス計画書を作成し、統一したケアを実施し、自立支援に施設全体で取り組む。
- 施設内の明るい雰囲気づくりを推進する。相手の立場になって物事を考え、態度や言葉遣いに気を付けて対応する。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- 入所サービス・在宅サービスとも、高稼働率を維持できるよう対応する。特に在宅サービスは、感染症等の影響を受けやすいため、感染対策をしっかりと行い、時季的な稼働率の低下に対しても、これまでの統計・データ等から前もって対応し、稼働率の維持に繋げる。
- 個々の職員がムダに対する意識をもって業務に当たる。物価の高騰に対して、物品等の使用に関しても節約・工夫を心掛ける。

◆ 人材育成と職場環境の整備

- ・チームケアを大切にして、職員一人ひとりが目標を持ち業務に取り組み、研鑽しながらマナーとサービスの質・能力の向上に努める。
- ・地域の介護、福祉の多様なニーズに応えられる人材、自ら能動的に学習し続けることのできる人材の育成・定着に努める。
- ・介護分野における生産性向上の取組を推進する。ICT等を活用し、業務の省力化、効率化を図る。また、日常業務の中で、不必要的ものがないか見極め、見直しを行い、サービスの品質向上に努める。

◆ 地域社会への取組み

- ・地域活動への参加や施設でのイベントを開催し、地域住民との関わりを多く持ち、関係性を深める。
- ・地域の医療機関や関係各部署・他事業所・他職種間との連携に努め、ご利用者に適切なサービスが提供できるように努める。
- ・大規模な災害の発生時に、特別な配慮を必要とする方々に対し、鴨川市と連携を図り、福祉避難所の開設について対応する。

◆ 行事及び会議等

- ・季節を感じ楽しめる行事の実施
4月 花見 5月 端午の節句 母の日 6月 父の日 7月 七夕祭り そうめん流し
8月 夏祭り 9月 敬老会 10月 秋の味覚を楽しむ会 11月 焼き芋
12月 クリスマス 忘年会 1月 初詣 2月 節分 豆まき 3月 ひな祭り
- ・施設内経営運営会議(月1回)
- ・法令、各指針等に基づき定例で開催
安全対策会議、身体拘束適正化会議、虐待防止検討会議、感染対策会議、生産性向上委員会

◆ 修繕計画

- ・屋上排気ファン更新工事
- ・庭園(菜園)の整備(中庭の有効活用)
- ・施設内配管設備の点検(給排水設備、スプリンクラー設備)
- ・その他、施設の老朽化により突発的に発生する不具合等に対しては、ご利用者にご迷惑をお掛けしないよう都度、迅速に対応する。

8. たいよう（介護老人保健施設）（短期入所療養介護）（通所リハビリテーション）

ケアサポートセンターMOANA（定期巡回随時対応型訪問介護看護）

【事業及び定員】

- ・介護老人保健施設サービス 100名
- ・(予防)短期入所療養介護入所 (空床利用型)
- ・(予防)通所リハビリテーション 1日利用型 40名
短時間利用型 20名×3枠
- ・定期巡回随時対応型訪問介護看護(ケアサポートセンターMOANA)

【運営方針】

- ・包括的ケアサービス施設として、ご利用者の意思を尊重し、望ましい在宅または施設生活が過ごせるようチームで支援する。そのため、ご利用者に応じた目標と支援計画を立て、必要な医療、看護や介護、リハビリテーションを提供する。
- ・リハビリテーション施設として、体力や基本動作能力の獲得、活動や参加の促進、家庭環境の調整など生活機能向上を目的に、集中的な維持期リハビリテーションを行う。
- ・在宅復帰施設として、脳卒中、廃用症候群、認知症等による個々の状態に応じて、多職種からなるチームケアを行い、早期の在宅復帰に努める。
- ・在宅生活支援施設として、自立した在宅生活が継続できるよう、介護予防に努め、入所や通所などのサービスを提供するとともに、他のサービス機関と連携して総合的に支援し、家族の介護負担の軽減に努める。また、医療を提供する在宅支援施設としてターミナルケアを実施する。
- ・地域に根ざした施設として、家族や地域住民と交流し情報提供を行い、様々なケアの相談に対応する。自治体や各種事業者、保健・医療・福祉機関などと連携し、地域と一体となったケアを積極的に担う。
- ・評価・情報公開を積極的に行い、サービスの向上に努める。

◆ 目標利用率

	2025 年度	2024 年度(見込)
入所+短期入所	94%	89%
通所(1日・短時間)	85%・75%	74%・72%
MOANA	8名	5名

◆ 良質なサービス提供への取組み

全事業共通

- ・ご利用者の意思及び人格を尊重し、原則として身体拘束を行わない。また、人権の擁護、虐待を防止する。
- ・明るく家庭的雰囲気を重視し、ご利用者が「にこやか」で「個性豊かに」過ごすことができるよう努める。
- ・サービスは懇切丁寧を旨とし、ご利用者の同意を得て実施するよう努める。

MOANA

- ・随時対応サービス及び随時訪問サービスは、ご利用者からの随時の通報に適切に対応する。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・AIやDX、福祉機器・設備を活用し生産性向上を図る。
 - ・目標稼働率の達成のため、新規ご利用者の開拓を強化する。
 - ・介護老人保健施設の役割を念頭に、介護報酬における算定可能な加算は、費用対効果やサービスの質への貢献性も念頭において効果的に算定する。
- ※ 在宅復帰・在宅支援機能加算は、目標稼働率を下らないことを前提に取得を目指す。

◆ 人材育成と職場環境の整備

- ・職員が互いに尊重し合い、ハラスメントの無い働きやすい職場を維持する。
- ・上位者からの指導や、研修・訓練等を通じて職員の成長を促し、働き甲斐のある職場をつくる。
- ・外国人職員の増加に伴い、背景にある文化の違いによる価値観の相違を理解した上で高度人材化は喫緊の課題であることから、これらの課題に特化した就業管理・指導による育成の仕組みを構築する。

◆ 地域社会への取組み

- ・長狭高校の医療・福祉コースへの講師の派遣を継続する。
- ・地区社協に参加するなど、地域活動への貢献を継続する。
- ・市町村自治体や各種事業者、保健・医療・福祉機関などと連携し、地域と一体となったケアを積極的に担う。

◆ 行事及び会議等

○行事

- ・たいようでは、毎月1回程度の頻度で開催し、ご利用者に参加を促す。
- ・消防訓練や設備の維持点検は、法令に則って適切に行う。

○会議

- ・法令等または施設の規則で定められた会議体は、原則としてその定めに従って設置し会議する。臨時に必要な会議等や所属ごとに行う会議は、適宜開催する。
〔法令等の定めによるもの、介護給付の加算の算定に必要なものなど〕
業務継続(BCP)委員会(災害、感染症)、労働衛生委員会、安全対策委員会、
身体的拘束等適正化委員会、虐待防止等対策委員会、感染症・食中毒対策委員会、
終末期ケア委員会、給食会議、生産性向上委員会

◆ 修繕計画

消防設備（避難用屋外避難階段）

- ・サビによる腐食部分の溶接補修工事(全体の再塗装含)

介護設備

- ・特殊浴の老朽化に伴う入替更新

9. まんぼう（ケアハウス）

【事業及び定員】

軽費老人ホーム 50 名

【運営方針】

- ・生き生きと明るく自立した生活を楽しめる住まいとなるよう、安全、衛生を基本とした環境づくりに努める。
- ・ご入居者とのコミュニケーションを大切にし、小さな変化を見落とさぬよう心や体への健康管理を進める。
- ・ご家族や関係機関と連携し、サービスの調整・見直しを続けることで、ご入居者の変化していくニーズに随時対応していく。
- ・自分の考えを言い易い環境を整え、新しい発想で業務改善を行う。
- ・地域に根差した施設として、地域社会との連携を図る。

◆ 目標利用率

	2025 年度	2024 年度(見込)
入所	98.0%	95.2%

◆ 良質なサービス提供への取組み

- ・自立した生活の維持のため、福祉サービスや社会資源の情報提供を隨時おこない、安心して自立生活を楽しめる暮らしが送れるよう心掛ける。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・退所後の、居室修繕・ハウスクリーニング導入のタイムラグを抑え、退所から入所の空室状況を極力なくすよう努めることで稼働率の向上に繋げる。
- ・入居稼働率を高水準で維持するために、各機関への営業を行い入居希望者の裾野を広げる取組みを進め、収支状況の安定化を図る。

◆ 人材育成と職場環境の整備

- ・各種研修や訓練を行うことで職員一人ひとりが福祉に関する知識を深める。また、AI を活用することによる業務簡略化や DX を進めることで、職員が働きやすい環境を整える。

◆ 地域社会への取組み

- ・地域に根差した高齢者施設として、地域自治体や福祉・医療関係機関、地域住民との繋がりを大切にする。

◆ 行事及び会議等

- ・行事：買物外出や季節を感じてもらえるような外出を月ごとに実施する。また、体力維持を目標とした体操クラブや各種クラブ活動を計画し、充実した入所生活が送れるよう努める。
- ・会議：職員会議、給食会議、ケース会議、安全対策委員会、利用者懇談会を毎月行い、高齢者虐待防止委員会、身体拘束適正化委員会については、指針等に基づき定例で開催する。

※感染症及び食中毒の予防及びまん延防止、事故発生の防止及び発生時の対応の検討会については、安全対策委員会の中で随時開催する。

◆ 修繕計画

- ・受水槽塗装補修工事
- ・エアコン改修工事(居室・相談室)
- ・エントランス鉄骨補強・塗装工事
- ・厨房内照明改修工事(蛍光灯から LED 照明へ)
- ・エレベーター機能維持修理

10. しあわせの里（障害者支援施設）

【事業及び定員】

- ・施設入所支援 70名
- ・生活介護 70名
- ・短期入所 10名
- ・相談支援
- ・障害者グループホーム等支援事業

【運営方針】

- ・ご利用者の生活の質(QOL)の向上 : 個別支援計画の充実と実践
- ・地域共生の推進 : 地域との連携強化と社会参加の促進
- ・職員の専門性向上 : 研修の充実とキャリアアップ支援
- ・ICT・DXの活用 : 業務効率化と支援の質向上

◆ 目標利用率

	2025 年度	2024 年度(見込)
施設入所支援	98.5%	98.2%
生活介護	95.0%	93.0%
短期入所	70.0%	69.0%
相談支援	23 件/月	21 件/月

◆ 良質なサービス提供への取組み

- ・個別支援計画の強化 : アセスメントの精度向上と定期見直し、モニタリングを実施する。
- ・日中活動の充実 : 生産活動・創作活動・余暇活動の多様化を検討する。
- ・健康管理の強化 : 食事支援・運動プログラム・口腔ケアの強化を図る。
- ・虐待防止・権利擁護の推進 : 意思決定支援の強化を図る。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・日頃からスタンダードプロセッションを実施し感染対策に努め、医療機関や行政、高齢者施設等と連携を図り、サービス調整を行い、稼働の維持安定を図る。
- ・行政や相談支援事業所・安房特別支援学校と連携を図り、新規ご利用者の受け入れの強化を図る。

◆ 人材育成と職場環境の整備

- ・BCP や虐待防止・身体拘束等をテーマに職員のスキルアップの機会を持つ。またAI・DXや福祉機器・設備を活用し、職員が働きやすくご利用者のQOLを高め、やりがいのある職場環境を目指す。
- ・全国身体障害者施設協議会のケアガイドラインを基に、研修を実施し資質の向上を図る。
- ・ナースコール設備の老朽化による入替時に、スマートフォンの導入を計画し生産性の向上を図る。
- ・外部研修・内部研修の計画を立案し実施していく。

◆ 地域社会への取組み

- ・日常からオープンに地域活動等に参加し、連携を強化していく。災害時等には福祉避難所として行政と連携を図る。
- ・近隣地域との大規模災害時の協力体制の強化を図る。
- ・地域の子供たちへの福祉教育、インターナーシップ受け入れを実施する。
- ・年間 2 回地域連携推進会議を実施する。
- ・障害者グループホーム等支援事業を通じ、地域移行等に繋げていく。

◆ 行事及び会議等

- ・行事 :年間を通じて季節を感じるものやご利用者のニーズに沿ったものを計画し、実施する。
4月 花見 5月 家族会 6月 食事外出 7月 七夕 8月 夏祭り
9月 食事外出 10月 ハロウィン 11月 紅葉ドライブ 12月 クリスマス会
1月 新年会 2月 節分 豆まき 3月 ひな祭り
その他、障害者グループホーム等支援事業に関する行事
- ・会議 :施設内経営会議・ケア安全会議・個別支援会議・入所検討会議・地域連携推進会議
障害者グループホーム等支援事業に関する会議
- ・委員会:虐待防止委員会・身体拘束適正化委員会・感染対策委員会

◆ 修繕計画

- ・ナースコール設備の入替工事
- ・移乗用リフトや入浴設備導入の検討

11. らんまん（障害福祉サービス事業所）

【事業及び定員】

・就労継続支援 B型	38名	従たる事業所(らんまん和田事業所)	10名
・自立訓練(生活訓練)	6名		
・共同生活援助(グループホーム星の砂)	7名		
・共同生活援助(ケアホームらんまん)	18名		

【運営方針】

当事業所では、地域共生社会の実現を目指し、ご利用者が地域社会の一員としての役割を担い、自分らしく活躍できる就労や地域生活の場を提供する。「花カフェ」「亀ママキッチン」を中心に、学生、障害者、地域住民、多様な方々が集う交流拠点としての一助を担う。また、農福連携に加え、社(行政・企業)教(学校)との連携など、多種多様なパートナーシップによる活動に積極的に取り組み、地域の活性化に貢献する持続可能な事業運営を目指す。

◆ 目標利用率

事業種別等	2025 年度	2024 年度(見込)
就労継続支援 B型	95%	93.7%
自立訓練(生活訓練)	95%	49.5%
グループホーム星の砂	97%	98.7%
ケアホームらんまん	97%	97.8%

◆ 良質なサービス提供への取組み

ご利用者のニーズ、多様性を重視した生産活動の場を提供する。作業活動を通し、作業工賃額のみならず、自分たちの仕事が社会と繋がっていることや地域貢献を実感でき、個々のやりがいや自信に繋がるサービス提供に努める。GHにおいては、入居者の意思決定支援に配慮しながら、地域社会で自分らしく暮らすことのできるサービス提供に努める。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・情勢の変化への迅速な対応と継続的な改善により、常に良質なサービスを提供すると共に、新規利用ニーズに積極的にお応えし、安定的な利用率(収入)に繋げる。
- ・作業工賃額の多寡による報酬体系に対応し、工賃額の向上に取り組み、安定的な収入に繋げる。
- ・適正人員配置、経費低減、加算算定に必要な体制の構築、収支バランスの定期的な検証・改善に努め、安定経営に繋げる。

◆ 人材育成と職場環境の整備

- ・各事業拠点間の労働力の相互連携と、「連携、共有、効率」を目的とした DX や AI を活用した生産性向上に努め、最小人員で最大の効果に繋がる体制づくりに努める。
- ・学生アルバイト、障害を持たれた方、外国人等の多様な人材の雇用により、安定した人材を確保し、労働力不足を解消する。

◆ 地域社会への取組み

- ・「花カフェ」「亀ママキッチン」を中心に多様な方々が集う交流拠点として、地域共生社会の実現に寄与する運営を目指す。
- ・「農福連携」の作業活動に継続的に取り組む他、多種多様な分野とのパートナーシップによる活動にも積極的に取り組み、地域の活性化に貢献する。

◆ 行事及び会議等

- ・行事については、月 1 回実施する。
- ・作業製品等の販売機会やイベントへの出店等に協賛する。
- ・亀田医療大学イベントへの協賛や亀ママキッチンの営業をする。南房総校オープンキャンパスへの協賛や花カフェ感謝祭(仮称)企画の他、安房拓心高校文化祭に合わせたカフェ営業等、学校、地域との連携にも努める。
- ・各種会議、委員会は、障害者総合支援法及び、各指針等に基づき定例で開催する。

※花カフェ感謝祭(仮称)は、南房総校とのコラボイベントとして、企画運営に学生、職員にも参画いただき開催を予定する。

◆ 修繕計画

- ・空調更新工事
- ・空調動力盤更新工事
- ・非常口排煙窓更新

12. 千葉県中核地域生活支援センター ひだまり

【運営方針】

地域の様々な社会資源を有効かつ適切に活用することにより、地域の誰もが生涯を通じ自分らしく満足のできる生活が送れるように支援する。生活上の課題を抱える人とその家族、各関係機関、横断的な支援を必要とする人、権利擁護を必要とする人に対し、その人やその人を取り巻く環境にアプローチし、自ら解決する力を引き出す。

また、職員それぞれが業務を遂行するにあたり、専門知識のさらなる向上を目指し、安房圏域の児童・高齢者・障害を持つ方々や、その他様々な要因で地域社会や相談窓口に繋がることが困難な方々のニーズを直接受け止め、各関係機関と連携し迅速なる対応を心がける。

【事業内容】

◆ 包括的相談支援事業

制度の狭間にある人、複合的な課題を抱えた人、広域的な調整を必要とする人の相談を
24時間・365日ワンストップで分野横断的に受止め、相手方に寄り添った支援を行う。

◆ 地域総合コーディネート事業

行政・福祉・医療・司法・教育等の各分野の支援者や支援機関、当事者・関係機関等と調整し、個別課題から見える地域課題を関係機関と問題意識の共有を図り、新たなサービスや社会資源創出の促進に努める。

◆ 権利擁護事業

高齢者、障害者、児童等の判断能力が不十分な者に対して、権利侵害、虐待等の予防や対応を行い、本人やその家族が尊厳ある生活を送れるよう支援する。

◆ 市町村バックアップ事業・重層的支援体制づくり事業

各市町の相談支援体制等のスキルアップを図り、地域全体の対応力の向上を図る。複合的な課題の解決事例を通して各市町の重層的支援体制の構築に向けた支援を行う。

◆ 生活困窮者自立支援事業(鋸南町)

生活保護に至る前の段階の生活困窮者に対し、自立相談支援や就労支援等を通じて「自立の促進」を図る。

◆ 校内居場所づくり事業(高校居場所カフェ)

様々な要因により困難な状況にある子どもに対し、校内で安心できる居場所を提供する。

◆ 行事及び会議等

	行 事	会 議
4月	高校居場所カフェ「ゆるかふえ」 高次脳機能障害当事者家族会(毎月)	中核地域生活支援センター連絡協議会(毎月) 郡部中核センター委員会(毎月) 鋸南町支援調整会議(毎月) 要保護児童対策地域協議会(館山・南房総・鋸南 隔月) 地域自立支援協議会相談部会 フードバンク安房運営会議(隔月)
5月	高校居場所カフェ「ゆるかふえ」 居場所づくり「あつまり」(隔月) 青空の会総会	地域自立支援協議会総会 地域自立支援協議会子ども部会、医療的ケア児 WG 要保護児童対策地域協議会(鴨川 隔月) 南房総市要保護児童対策地域協議会代表者会議 高次脳機能障害普及支援事業(隔月) スクールソーシャルワーカーとの連携会議(隔月) 安房しあわせネットワーク(隔月) 特別支援教育連携協議会 地域福祉担当課長・社会福祉協議会事務局長合同会議 南房総市ひきこもり支援プラットフォーム実務者会議(隔月)
6月	高校居場所カフェ「ゆるかふえ」 居場所づくり「あつまり」 視覚障害者当事者の会「あわの虹」 南房総ひきこもり支援協議会定例会	地域自立支援協議会相談部会 南房総ひきこもり支援協議会 鴨川市虐待防止連絡協議会 医ケアっ子の未来をつくる安房の会
7月	高校居場所カフェ「ゆるかふえ」 重層的支援体制整備事業研修会	
8月	居場所づくり「あつまり」	地域自立支援協議会相談部会 南房総市ひきこもり支援プラットフォーム準備会 安房地区医療的ケアネットワーク連絡会 医ケアっ子の未来をつくる安房の会
9月	高校居場所カフェ「ゆるかふえ」 視覚障害者当事者の会「あわの虹」	地域自立支援協議会子ども部会、医療的ケア児 WG
10月	高校居場所カフェ「ゆるかふえ」 居場所づくり「あつまり」 中核地域生活支援センター大会 南房総ひきこもり支援協議会定例会 ふさの子サポネット	地域自立支援協議会相談部会 南房総ひきこもり支援協議会 南房総市ひきこもり支援プラットフォーム実務者会議 特別支援学校・特別支援養育コーディネーター連絡協議会 医ケアっ子の未来をつくる千葉の会
11月	高校居場所カフェ「ゆるかふえ」 リハケア文化祭 重層的支援体制整備事業研修会	重層的支援体制整備事業 鴨川市虐待防止連絡協議会 医ケアっ子の未来をつくる安房の会
12月	高校居場所カフェ「ゆるかふえ」 居場所づくり「あつまり」 視覚障害者当事者の会「あわの虹」	地域自立支援協議会相談部会 生活困窮者自立相談支援機関実務者会議
1月	高校居場所カフェ「ゆるかふえ」	地域自立支援協議会子ども部会、医療的ケア児 WG
2月	居場所づくり「あつまり」 南房総ひきこもり支援協議会定例会 南房総市ひきこもり支援プラットフォーム研修会 千葉県生活困窮者自立支援実務者ネットワーク	地域自立支援協議会総会 地域自立支援協議会相談部会 南房総ひきこもり支援協議会 連絡調整会議 館山市高齢者虐待防止ネットワーク会議 生活困窮者自立相談支援機関実務者会議(家計部会) 館山市高齢者虐待防止ネットワーク会議
3月	高校居場所カフェ「ゆるかふえ」 視覚障害者当事者の会「あわの虹」	中核地域生活支援センター評価会議 生活困窮者自立支援事業プロポーザル会議(家計改善・就労準備支援) 南房総市高齢者虐待防止ネットワーク会議代表者会議 鴨川市虐待防止連絡協議会 医ケアっ子の未来をつくる安房の会

13. 鴨川市福祉総合相談センター 天津小湊

【事業】

- ・地域包括支援センター・サブセンター受託事業

【運営方針】

天津小湊地区と東条地区で生活する住民の総合相談窓口として、地域住民が住み慣れた地域で生活が続けられるよう、介護・福祉・健康・医療等の面から総合的に支援する拠点となる。

- ・24時間 365日のワンストップの相談体制の周知を図る。

- ・地域住民やボランティア、医療や介護の各関係機関と連携し、顔の見える関係を構築しながら相談支援を行う。

◆ 良質なサービス提供への取組み

・介護予防ケアマネジメント

- ① 介護予防の普及啓発を行い、対象者を把握して必要な支援を行う。
- ② 介護予防・総合支援事業で実施される介護予防・生活支援サービス事業で、介護予防への取り組みを推進する。

・包括的・継続的ケアマネジメント支援

- ① 介護支援専門員への研修や個別支援を行い、ケアマネジメント能力の向上を図る。
- ② 介護支援専門員及び介護サービス事業所が医療と連携しやすい体制を作る。

・権利擁護

- ① 高齢者虐待の個別対応にあたっては福祉課や他関係機関と連携を図りながら、早期解決に向けた支援を行う。
- ② 鴨川市虐待防止連携協議会等に参加し、虐待防止のネットワークづくりを行う。
- ③ 成年後見制度の利用普及に向けて、権利擁護センターと相談支援体制の充実及び啓発活動を行う。

・地域ネットワーク構築

- ① 社会福祉協議会及び地域関係団体とのネットワークを構築し、独居高齢者等の地域での見守り等の支援が充実するよう働きかける。
- ② 地域ケア会議を継続し、地域関係団体及び医療介護専門職のネットワークづくりを行う。
- ③ 担当地区における災害時の要支援者名簿の作成と鴨川市等への情報提供を行う。

・在宅医療・介護連携支援センター

- ① 在宅医療及び介護関係機関が連携しやすい体制づくりを推進する。
- ② 地域住民に対し在宅医療の普及啓発活動を行い、専門職との連携が図りやすい体制づくりを行う。

・認知症高齢者支援

- 認知症機能強化型の包括支援センターとして、認知症高齢者の支援に重点を置いた支援を実施する。

- ① 認知症初期集中支援チームのチーム員として会議等に参加し、認知症高齢者の支援に役立てるとともに、認知症疾患医療センターや認知症サポーター医との連携が図れる体制づくりを行う。
- ② 認知症家族のつどいの開催や他機関で開催する認知症家族のつどいに参加し、認知症や認知症施策の普及・啓発に努める。
- ③ 定期的(月1回程度)にテーマを決めての勉強会等を開催し、認知症について気軽に相談できる場所づくりを行う。
- ④ 認知症の啓蒙活動として、地域や関係機関に対し定期的に認知症サポーター養成講座を開催する。
- ⑤ 認知症カフェ等の活動の支援や、認知症の疑いのある高齢者や介護サービスにつながらない認知症高齢者等への支援を行う。

◆ 人材育成と職場環境の整備

- ・職員が互いに尊重し合い、ハラスメントの無い働きやすい職場を維持する。
- ・上位者からの指導や、研修・訓練等を通じて職員の成長を促し、働き甲斐のある職場をつくる。

◆ 行事及び会議等

- 行事:
- 9月 虐待防止キャンペーン
 - 11月 安房地区リハビリ文化祭
 - 12月 虐待防止研修会
 - 3月 認知症家族のつどい

会議:

月	会議名
毎月	鴨川市福祉総合相談センター連絡会議 各地区社会福祉協議会(総会)
奇数月 (3月を除く)	鴨川市認知症初期集中支援チーム定例会議
5	鴨川市民生委員児童委員協議会地区会議 鴨川市介護サービス事業所協議会総会 鴨川市ケアマネジャー連絡協議会総会
6,8,2	鴨川市虐待防止連携協議会会議
7	小湊地区地域福祉フォーラム
10	介護保険運営協議会(地域包括支援センター運営協議会)

14. 安房地域医療センター

【運営(経営)方針】

安房地域医療センターの使命と役割は、患者さまにとって最適な医療を提供すること、地域の急性期医療を守り支えることにある。そのためには、安定した経営基盤の確立をはじめとして緊密な地域連携、長期的視点に基づく事業展開および人材の確保が不可欠である。

今年度は、病棟運営の更なる最適化や眼科センターの開設、新規事業展開、生産性向上による経営改善に主眼を置くとともに、医療介護連携および多職種連携の推進、良質な医療人材・経営人材の採用および育成、定着率の向上に努める。

【基本方針】

1. 365日24時間の救急医療を提供する。
2. 患者さまを尊重した、安全で質の高い医療を提供する。
3. 健康維持のために意義ある検診・人間ドックを提供する。
4. 職員の研修・研鑽に努める。
5. 明るく、働き甲斐のある病院創りに努める。
6. 地域の中核病院として、他の医療機関・福祉施設等の医療連携に努める。

【重点項目】

◆ 目標患者数／受診者数

	2025年度(目標)	2024年度(見込)
入院 (1日平均)	51,900名 (142名)	51,300名 (141名)
外来 (1日平均)	157,100名 (520名)	150,200名 (496名)
健診・検診	57,000名	56,500名

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

1. 眼科センターの早期収益化
2. 経営資源管理の徹底
3. 持続的な成長・発展のための利益確保
4. 収益力の向上、徹底したコスト最適化
5. 綿密な資金計画に基づく適正な設備投資
6. 新たな収入源の創出、拡大

◆ 患者さま支援および地域社会への取組み

1. 患者さま目線での医療サービスの提供
2. 切れ目のない患者さま支援と医療・介護連携の推進
3. 予防医療の推進と健康寿命延伸への貢献
4. 二次救急医療機関としての機能強化
5. 潜在的ニーズの把握と喚起策の実行
6. 地域交流活動の継続、充実
7. 価値を高める広報戦略活動
8. ステークホルダーとの良好な関係の構築

◆ サービスの量的拡大、質的向上へ向けた取組み

1. 医療・業務の標準化および質の追求
2. 業務プロセスの最適化によるパフォーマンスの向上
3. ICT 利活用による生産性向上、職場環境の改善
4. 多職種連携の推進と専門性の発揮
5. ビジョンマネジメント・ナレッジマネジメントの推進
6. 総合健康管理センターの早期開設に向けた取り組みの強化
7. プロジェクト等における法人内連携および協働の推進
8. コンプライアンスの徹底、適切なリスクマネジメント

◆ 人材育成と職場環境の整備

1. 計画的な人材確保および戦略的人材配置
2. 人材育成・キャリア開発支援の充実
3. 教育・研鑽による職能向上
4. 法人内外における人材交流の促進
5. 働きがいのある良好な組織風土の醸成

◆ 年間スケジュール

- ・ 2025年 4月 入職式・新入りエンターンシップ
眼科センターオープン(予定)
- ・ 2025年 5月 総合健診(安房4市町、～11月)
- ・ 2025年 6月 ISO外部審査
- ・ 2025年 9月 避難訓練
- ・ 2025年 10月 病床機能報告及び外来機能報告、災害訓練
- ・ 2025年 11月 医療法第25条第1項の規定に基づく立入検査(医療監視)
- ・ 2025年 12月 ISO外部審査
- ・ 2026年 1月 避難訓練

15. 訪問看護ステーションおひさま

【運営方針】

訪問看護の役割として、在宅療養者やその家族が、住み慣れた地域で自立し、安心して暮らせるよう、その生活を守ることにある。そのためには、経営の安定化と看護スタッフの定着が不可欠である。

今年度は、新規利用者および訪問件数の増加による収益維持を主軸に、訪問看護サービスの質向上、地域連携の強化、人材育成および定着率の向上を目指す。

【基本方針】

- ご利用者が要介護状態となった場合においても、可能な限りその居宅で有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう療養生活を支援し、心身機能の維持回復を図る。
- ご利用者の心身の特性を踏まえて、日常生活の充実に資するよう、その療養上の目標を設定し、計画的に行う。
- ご利用者の意思および人格を尊重し、常にご利用者の立場に立ったサービスの提供に努める。
- 訪問看護の実施にあたっては、ご利用者の所在する市町村、居宅介護支援事業者、地域包括支援センター、保健医療サービス及び福祉サービスの提供者との連携に努める。
- 指定訪問看護の提供の終了に際しては、利用者またはその家族に対して適切な指導を行うとともに、主治医及び居宅介護支援事業者へ情報の提供を行う。
- 「指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準」(平成 11 年厚生省令第 37 号)に定める内容を遵守し、訪問看護を実施する。

◆ 目標訪問件数

	2025 年度(目標)	2024 年度(見込)
訪問件数	560 件	519 件

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- 新規利用者登録数の増加
- 定期訪問件数の安定化
- ターミナル期利用者への訪問頻度の適正化
- 訪問外業務の負担軽減
- 体制強化加算の継続算定

◆ 利用者支援および地域社会への取組み

1. スムーズな退院支援
2. 医療関係者(看護学生、医学生等)への研修環境の提供
3. 医療的ケア児者等へのサポート強化のための行政連携
4. 災害や新興感染症に対応するためのBCP整備および効果的運用
5. 「地域包括ケアシステム」の構築に係る多職種連携の推進

◆ サービスの量的拡大、質的向上へ向けた取組み

1. ICT活用による業務効率化と生産性向上
2. 事業所質評価ガイドラインの活用
3. 医療的ケア児への訪問看護の推進
4. 特定行為研修修了者の活動環境の整備と活動の充実

◆ 人材育成と職場環境の整備

1. 在宅看護の専門性向上
2. 安全管理(ハラスマントを含む)に関する情報共有の徹底
3. 新人教育の充実
4. 研修受講環境の充実

16. 安房医療福祉専門学校（看護学科）

【運営（経営）方針】

- ・本校の教育理念に基づき看護師養成カリキュラムによる教育を展開し、看護師としての必要な基礎力を培い、看護師国家試験での合格率100%を目指す。
- ・看護師志望者の減少、大学志向など、安房地域での学生の確保が厳しい状況のなか、様々な募集活動及び入学方法で2026年度の入学者を確保し、安定した学校経営及び奨学金利用による太陽会への看護師供給を図る。

【教育理念】

- ・愛の心をもって、患者さまのニーズに柔軟に対応し、地域の人々と共に歩んでいける看護師を育成する。

【重点項目】

◆教育における取組み

- ・令和5年における千葉県内の大学・短大進学率は約62.5%と過去最高となり、専門学校は19.2%と低下傾向にある。2025年度、千葉県内には看護系大学が20校に増え、大学志向が高まる中、看護専門学校へ入学していく生徒においては、学力不足が懸念される。そのような状況で、国家資格の取得を目指すためには、効果的な学習方法を導入し、1年生のうちから国家試験の問題に取り組むことが重要となる。今年度は、教科書の他に国家試験対策に重点をおいた参考書、自宅で視聴できる動画教材、毎日10分間で解ける過去問題の配信など、国家試験対策に評価の高い業者のプログラムを導入し対策の強化を図る。
- ・看護専門学校の使命でもある、実践能力の高い看護師育成においては、安房地域医療センター看護部と連携し実習前の演習指導に加え、臨床看護師による講義を増やす予定である。臨床判断能力の育成には経験値が左右する、臨床の看護師が日々どのように患者の状態をアセスメントし適切な看護を実践しているのか、思考発話からの学びを充実させる。

◆学生募集における取組み

- ・看護師の学生募集は安房地域での入学生の確保が今後も厳しい状況が予想されるが、様々な広告媒体やSNSでの有効な情報発信を行いながら、千葉県内のみならず、全国各地からの本校志望者の増大を図る。高校訪問による看護志望者に対する本校紹介や推薦依頼、近年顕著な成長を続ける通信制高校へ営業活動の拡大、ONE TO ONE アプローチによる個人に対するきめ細やかなフォロー、在校生や卒業生による入学生紹介制度の創設、また日本人のみならず外国人の獲得に向けては南房総校とも連携し、新たな募集活動を取り入れながら、入学生の確保を目指す。
- ・入試は総合型選抜(AO)を9月に新たに導入し、高校による指定校推薦や公募推薦のみならず、社会人も含めた本校入学希望者の早期獲得を図る。10月に高校推薦と社会人推薦、11月以降は一般入試を含めた入試を3月までに毎月実施、合計7回とする。入試内容は、総合型選抜と指定校推薦は書類審査と面接による選考、その他の入試では書類審査、面接のほか、筆記試験は従来通り国語(現代文のみ)の1科目とし、受験生にとって出願し易い入試を実施する。

◆人材育成と職場環境の整備

- ・変化する看護教育、学校教育(ICT)、制度改革に対応すべく研修等に参加するなど必要な知識やスキル向上を図り、情報を共有し、業務の標準化を図る。
- ・ISO9001による品質管理を行い、教務と事務で連携、学生の意見等も取り入れ、より良い学校運営を円滑に進める。
- ・業務の効率化、業務改善を図り、ワークライフバランスのとれた働きやすい職場環境の整備に努める。

【学生の状況について(2025年4月1日予定)】

1) 新卒/社会人別

	1年生	2年生	3年生	計
高校新卒	13 (0)	25 (4)	31 (5)	69 (9)
社会人	8 (1)	7 (1)	10 (1)	25 (3)
合計	21 (1)	32 (5)	41 (6)	94 (12)

()男子学生

2) 住所地別(入学前の居住地)

	1年生	2年生	3年生	計
安房三市一町合計	7	16	13	36
館山市	1	8	8	17
南房総市	4	7	5	16
鴨川市	0	1	0	1
鋸南町	2	0	0	2
千葉県他市町村	7	8	19	34
千葉県以外	7	8	9	24
合計	21	32	41	94

◆ 年間計画(主な行事予定)

<在校生>

日程	内容
4月4日	2・3年生始業・新入生入学前オリエンテーション
4月5日	入学式・保護者会
4月7日～	新入生オリエンテーション
4月8日	学生定期健康診断
4月11日	春の総合訓練(避難・消火)
5月12日～9月12日	3年生 領域別実習
6月3日～5日	1年生 基礎I-1実習
7月25日～8月31日	夏期休業(1・2年生)
9月18日～9月30日	夏期休業(3年生)前半
9月27日	学校祭
10月6日～11月4日	3年生 総合・在宅看護論実習
10月20日	秋の総合訓練(避難・消火)
11月10日～12月8日	2年生 基礎II実習
11月14日	千葉県看護学生研究発表会(3年生)
11月17日～11月30日	夏期休業(3年生)後半
12月20日～1月12日	冬期休業(3年生 12月23日～)
2月7日	誓いの日
2月18日～2月26日	1年生 基礎I-2実習
2月15日	第115回看護師国家試験(仮)
3月7日	卒業式
3月20日～	春期休業(1・2年生)

<オープンキャンパス>来校型

実施日	回(対象者)
3月22日(土)	春休み(高3生限定)
6月14日(土)	第1回(全学年)
7月26日(土)	第2回(全学年)
8月2日(土)	第3回(全学年)
8月23日(土)	第4回(全学年)
9月6日(土)	第5回(全学年)

<学校見学・説明会>来校型

実施日	回(対象者)
10月18日(土)	第1回(主に受験生)
11月15日(土)	第2回(主に受験生)
12月20日(土)	第3回(主に受験生)

※設定日に参加できない学生に対しては、「パーソナル学校見学・相談会」として個別来校に対応。
遠方の方にはオンラインで個別対応も行う。

<入学試験>

実施日	日程区分	受験区分 条件等
9月20日(土)	総合型選抜(AO入試)	オープンキャンパスに必ず参加
10月11日(土)	A日程入試	指定校推薦 / 公募推薦 / 社会人推薦
11月8日(土)	B日程入試	公募推薦 / 社会人推薦 / 一般選考
12月6日(土)	C日程入試	公募推薦 / 社会人推薦 / 一般選考
1月17日(土)	D日程入試	公募推薦 / 社会人推薦 / 一般選考
2月14日(土)	E日程入試	社会人推薦 / 一般選考
3月14日(土)	F日程入試	社会人推薦 / 一般選考

17. 安房医療福祉専門学校南房総校（介護福祉学科・日本語学科）

【運営（経営）方針】

- ・2024年4月に介護福祉学科、10月に日本語学科を開設した。開校2年目となり、南房総校は持続可能な運営を目指し、地域の介護人材および日本で活躍できるグローバル人材の育成に努める。
- ・太陽会各拠点との連携を強化し、講師依頼や実習の受け入れなどを通して、より密接な協力体制を構築する。
- ・地域内の他の法人とも信頼関係を構築し、外国人留学生の受け入れを積極的に行うことで、安房地域全体の介護人材確保と、日本社会に貢献できるグローバル人材の育成に寄与する。

【教育理念】

- ・グローバルな視点を持ち、高い倫理観と知識に裏付けられたあたたかなケアを実践する介護福祉士を養成する。

【重点項目】

◆教育における取組み

- ・2025年問題による介護職不足が深刻化する中、当校の地元南房総市の高齢化率は50%に迫り、安房地域の18歳人口は高等学校一校を除いて定員割れが起こっている。一方、開校以来の広報活動が奏功し、地元介護施設からの学生のアルバイトや就職に関するオファーが増加しており、地元の期待に応えるべく、優秀な介護人材の輩出に向けた教育体制の充実を図る。
- ・日本人学生の国家試験合格率は100%が見込まれている。（自己採点の結果）留学生の合格率は十分とは言えず、今後はさらに留学生の日本語能力向上を図り、合格率の改善を目指す。
- ・介護人材育成において実習時の教育が重要であるため、実習施設との連携を密にするとともに、新規の実習施設を開拓していく。
- ・留学生が安心して学習に集中できるよう、本部及び法人内のアルバイト先と連携し、学習環境を整えていく。

◆学生募集における取組み

- ・学生確保とニーズへの対応が急務となる中、学校は留学生の受け入れを拡大し、ベトナムに加えインドネシア、ネパール、フィリピンからの学生を受け入れているが、日本人学生の確保が重要な課題となっている。
- ・2025年4月に13名学生が日本語学科に入学し、1年後には介護福祉学科に進学する予定である。
- ・日本人学生と国内の日本語学校に通う学生からの応募が期待されるため、ターゲットを定めて募集活動を実施する。

◆人材育成と職場環境の整備

- ・介護分野では、外国人介護職の訪問介護解禁など変化が進んでいる。外国人受け入れに関しては、文科省の「認定日本語教育機関制度」新設や「技能実習制度」から「育成就労」への変更など法制度の変更が頻繁であり、研修等で常に最新情報を把握する必要がある。
- ・留学生にとって、学校は家族代わりとなり、勉強・仕事・生活のサポートが求められる。しかし、学校職員数には限りがあるため、本部やアルバイト先職員と連携し、夜間・休日等の緊急時にも対応できるワークフローを整備し、職員への負担集中を防ぐ体制を構築する。

【学生の状況について（2025年4月1日現在（予定）】

1) 学科別

	1年生	2年生	計
介護福祉 学科	31 (1)	10 (2)	41

	4月生	10月生	計
日本語 学科	13 (2)	未定	13

()男子学生

2) 国籍別

介護福祉学科	1年	2年	合計
ベトナム(ドンア大学)	5	10	15
インドネシア	10	—	10
ネパール	14	—	14
フィリピン	1	—	1
日本人	1	—	1
合計	31	10	41

日本語学科	4月生	10月生	合計
ベトナム(中原病院)	3	—	3
インドネシア	2	—	2
ネパール	8	—	8
その他	—	—	—
合計	13	未定	13

◆年間計画(主な行事予定)

<在校生>

日程	内容
4月 10日	入学式(介護福祉学科日本語学科)
4月 24日	介護福祉学科 2年生の介護実習報告会(前年度 3月に実施した実習)
4月 25日	学生定期健康診断
4月下旬	日本語学科生 10月生申請締め切り
5月中・下旬	春の総合訓練(避難・消火)
5月中・下旬	春の遠足(日本語学科・介護福祉学科)予定
5月 26日	介護福祉学科 2年生 実習開始
6月 9日	みんなのオープンキャンパス(学校見学会・学校説明会)
7月 5日	日本語能力試験(留学生 任意受験)
7月初旬	介護福祉学科 1年生 実習開始 2グループに分かれて実習を行う
8月初旬	介護福祉学科 2年生 実習開始
8月中旬	日本語学科 夏季休暇開始
9月初旬	介護福祉学科 夏季休暇(実習の予定により調整)
9月 23日	「花カフェ感謝祭(仮)」に参加
9月 24日	介護福祉学科 後期授業開始
10月 1日	介護福祉学科 1年生 実習報告会
10月 25日	みんなのオープンキャンパス(学校見学会・学校説明会)
10月下旬	日本語学科生 4月生申請締め切り
11月 15日	「学校見学」「学校説明会」を開催(安房拓心高校の文化祭日)
11月下旬	秋の総合訓練(避難・消火)
12月 27日	介護福祉学科・日本語学科 冬期休暇開始
1月 25日	介護福祉士国家試験(予定)
2月 5日	介護福祉学科 2年生 事例発表会
2月 6日	介護福祉学科 2年生 春期休暇
3月 3日	介護福祉学科 卒業式

<オープンキャンパス>

実施日	内容
6月 9日	春の「みんなのオープンキャンパス」(第1回)
10月 25日	春の「みんなのオープンキャンパス」(第2回)

「入学希望者」に限らず「留学生受入希望施設」にも広報し、来場者を集め。設定日以外でも個別来校に対応し、遠方の方はオンラインで個別対応する。らんまんと連携し、「花カフェ」が営業できる日に実施する。(仮日程)

<入学試験>

実施日	日程区分	受験区分
10月 4日	1	指定校推薦/社会人推薦 A
11月 8日	2	一般選考 A 留学生 A
12月 13日	3	一般選考 B
1月 17日	4	社会人推薦 B/一般選考 C
2月 14日	5	一般選考 D/留学生 B
3月 14日	6	グループ校受験

※遠方から受験の場合、また学校単位で複数の受験者がいる場合は、受験日程、受験区分に関しては相談に応じて対応する。

18. 認定こども園 OURS (認定こども園)

【定員】

・教育保育課	390 名	・一時預かり事業	15 名	・学童クラブ OURS	90 名
・トワイライトステイ	15 名	・子育て支援解放	15 名	・育児相談	120 名

【運営方針】

教育・保育理念 Challenge【学びに向かう力、人間性等】好奇心を持って挑戦する子
Global 【知識及び技能の基礎】いろいろな価値観を大切にできる子
Love 【思考力、判断力、表現力等の基礎】思いやりのある優しい子

教育・保育ビジョン 6つの遊びの体験から心を育てる

6つの edutainment(樂習)

遊びの基地	(冒険心)	立腰教育	(自立心)	表現遊び	(自尊心)
体育ローテーション	(挑戦心)	サイエンス	(イマジネーション)	音楽遊び	(協調心)

◆ 目標利用率

	2025 年度	2024 年度(見込)
教育・保育課	80%	76%
一時預かり事業	100%	100%
学童クラブ OURS	100%	100%
トワイライトステイ	80%	7%
OURS アカデミー	7 団体	7 団体

◆ サービス提供方針

児童福祉法(昭和 22 年法律第 164 号)その他の子どもに関する法律による施策と相まって、子ども・子育て支援、その他の子ども及び子どもを養育している者に必要な支援を行い、もって一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる、こどもまんなか社会の実現に寄与することを目的とし、2025 年度の事業を運営する。

その目的を達成するために、保護者・地域、そして全ての関係者と協力しながら、未来を担う子どもたちの成長を支えるため、「幼保連携認定こども園教育・保育要領」に基づき、常により良い教育・保育サービスの提供を目指す。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

固定費・変動費の見直しを実施し、無駄な経費の削減に努める。また、連絡帳アプリの導入など、ICT 化と業務効率化を図り、コストパフォーマンスを向上させる。透明性と効率性を兼ね備えた経営のもと、持続可能な運営体制の実現を目指す。

◆ 人材育成と職場環境の整備

チームワークや相互尊重を基本とした職場文化を推進し、成功事例や努力の成果を積極的に共有し、職員間のモチベーション向上に寄与する取り組みを継続する。職員が安心して働く環境づくりと自己表現を支援し、こども園全体の発展と、子ども達の未来を支える基盤を、確固たるものとしていく。

◆ 地域社会への取組み

地域と共同し、活発なコミュニティづくりに寄与する。定期的に SNS を活用し、園の活動や地域連携の成果、今後のイベントを発信する。

子どもたちの成長と、地域全体の福祉向上を両立させるため、地域住民、企業、自治体、その他の教育・福祉機関との連携を深める。地域との共生と協力の精神に基づき、相互理解と支援のネットワークを構築することで、子ども達に安心出来る環境と多様な学びの機会を提供する。

◆ 修繕及び施設・設備整備

修繕必要箇所や、点検等で更新、修理の必要性の指摘がある項目については、法人内プロジェクト、拠点区分間での費用の移動等も考慮した優先順位による計画的、段階的な実施に努める。

・園庭改修・排水工事 ※その他少額の修繕、整備も当該年度予算により計画的に対応していく。

◆ 行事及び会議等

	行事・保健計画	研修・会議
4月	入園式・始業式・進級式 避難訓練・誕生会 手洗い・トイレの使い方指導	認定こども園 OURS の理念と約束について現場に出る心構え・保健研修・調乳指導おむつ交換研修・園の安全管理研修 各課連携研修 幹部会議・カンファレンス会議・委員長会議・アレルギー会議・委員長会議・給食会議
5月	子どもの日会・避難訓練 誕生会・不審者対応訓練 手洗い・トイレの使い方指導	虐待対応研修・情報管理研修 幹部会議・カンファレンス会議・委員長会議・アレルギー会議・給食会議
6月	避難訓練・バディクラスフリー参観 プレイクラスフリー参観 セージクラスフリー参観・誕生会 歯磨き指導・プールの約束 プライベートゾーンの話	体育研修・救急救命研修 幹部会議・カンファレンス会議・委員長会議・アレルギー会議・給食会議
7月	七夕会・避難訓練 おらがまち・誕生会・終業式 歯磨き指導・プールの約束 プライベートゾーンの話	立腰研修・選択制保育実技研修 幹部会議・カンファレンス会議・委員長会議・アレルギー会議・委員長会議・給食会議
8月	避難訓練・誕生会 歯磨き指導・プールの約束 プライベートゾーンの話	防災計画・災害研修 幹部会議・カンファレンス会議・委員長会議・アレルギー会議・給食会議
9月	始業式・総合防災訓練 0・1歳児運動会・2歳児運動会 誕生会・幼児課運動会 うがい・手洗い指導・目の大切さ 鼻のかみ方・咳エチケット・怪我予防	個別指導計画・各日誌の書き方 総合防災訓練研修 幹部会議・カンファレンス会議・委員長会議・アレルギー会議・給食会議
10月	避難訓練・オータムキャンプ 誕生会・ハロウィンパーティー うがい・手洗い指導・目の大切さ 鼻のかみ方・咳エチケット・怪我予防	KYT 研修 幹部会議・カンファレンス会議・委員長会議・アレルギー会議・委員長会議・給食会議
11月	避難訓練・遠足・誕生会 不審者対応訓練・怪我予防 うがい・手洗い指導・目の大切さ 鼻のかみ方・咳エチケット	OURS 研修・嘔吐処理研修 幹部会議・カンファレンス会議・委員長会議・アレルギー会議・給食会議
12月	0・1歳児発表会・2歳児発表会 避難訓練・誕生会・幼児課発表会 終業式・クリスマス会 うがい・手洗い指導・目の大切さ 鼻のかみ方・咳エチケット 怪我予防	救命救急研修・母乳育児研修 給食研修 幹部会議・カンファレンス会議・委員長会議・アレルギー会議・給食会議
1月	始業式・避難訓練・誕生会 歯磨き指導・こころの話 耳のはたらき	エピペン研修・6つの楽習研修 マーチング研修 幹部会議・カンファレンス会議・委員長会議・アレルギー会議・給食会議
2月	節分会・避難訓練・誕生会・造形展 バディクラスフリー参観 プレイクラスフリー参観 セージクラスフリー参観 歯磨き指導・こころの話 耳のはたらき	子どもの怪我の対応研修 幹部会議・カンファレンス会議・委員長会議・アレルギー会議・給食会議
3月	ひなまつり会・避難訓練・遠足 誕生会・卒園式・終業式 歯磨き指導・こころの話 耳のはたらき	環境整備研修 幹部会議・カンファレンス会議・委員長会議・アレルギー会議・委員長会議・給食会議

19. 認定こども園 OURS 館山（公私連携幼保連携型認定こども園）

【定員】

・教育保育課 294 名 ・一時預かり事業 10 名

【運営方針】

教育・保育理念 Challenge【学びに向かう力、人間性等】好奇心を持って挑戦する子
Global 【知識及び技能の基礎】いろいろな価値観を大切にできる子
Love 【思考力、判断力、表現力等の基礎】思いやりのある優しい子

教育・保育ビジョン 6つの遊びの体験から心を育てる

6つの edutainment(楽習)

遊びの基地	(冒険心)	立腰教育	(自立心)	表現遊び	(自尊心)
体育ローテーション	(挑戦心)	サイエンス	(イマジネーション)	音楽遊び	(協調心)

◆ 目標利用率

	2025 年度
教育・保育課	80%
一時預かり事業	100%

◆ サービス提供方針

子ども・子育て世帯の育ちを支える地域社会の実現、安心して出産、子育てが出来るまち作り、しくみを作る。社会情勢の変化・人口動態により保護者のニーズに沿った支援体制を提供する。認定こども園 OURS、企業主導型保育所 OURS baby で培ったノウハウを、館山市の子育て支援（周産期母子支援～子育て）の連結として生かし、貢献する。

子ども・子育て世帯のニーズに沿った切れ目のない支援提供を実現する。子育て相談の対応や子育て世帯が必要としているサービスを提供し、地域産業が豊かな館山市の子育てニーズを支える。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

目標利用率の達成と、物価の高騰に対する節約（主に物品）を順守する。費用管理とリスク管理を行い、予算に基づいた、資金の最適利用が出来る様に促進する。また、ICT の活用や業務のプロセスの改善により、管理体制の効率化を図る。地域ニーズに即した付加価値のある事業展開を検討する。

◆ 人材育成と職場環境の整備

年間研修計画に基づく研修を実施し、最新の教育・保育理論や実践技術を習得できる環境を整える。職員が自己の成長を実感できるよう、キャリアアップのための具体的な道筋を明確にし、モチベーションの向上を図る。コミュニケーションの促進が図れる様、定例ミーティング、チームビルディング活動を企画する。

◆ 地域社会への取組み

① 地域のどなたでも利用できるこども園を運営する。さらに、こども園で提供できない子育て関連サービスを、簡単な手続きで提供する。時代が求める新しいサービスを開拓し続ける。（OURS アカデミー等）

② 保護者のニーズに対応する為、一定規模での集団教育・保育を行う環境を整える。また、職員の倫理観に裏付けられた専門知識、技術の向上に努め、子育て視線の拡充を図り、保護者や地域の子育て支援の拡充を図る。

◆ 行事及び会議等

	行事・保健計画	研修・会議
4月	入園式・始業式・進級式 避難訓練・誕生会 手洗い・トイレの使い方指導	認定こども園 OURS の理念と約束について現場に出る心構え・保健研修・調乳指導おむつ交換研修・園の安全管理研修 各課連携研修 幹部会議・カンファレンス会議・委員長会議・アレルギー会議・委員長会議・給食会議
5月	子どもの日会・避難訓練 誕生会・不審者対応訓練 手洗い・トイレの使い方指導	虐待対応研修・情報管理研修 幹部会議・カンファレンス会議・委員長会議・アレルギー会議・給食会議
6月	避難訓練・バディクラスフリー参観 プレイブクラスフリー参観 セージクラスフリー参観・誕生会 歯磨き指導・プールの約束 プライベートゾーンの話	体育研修・救急救命研修 幹部会議・カンファレンス会議・委員長会議・アレルギー会議・給食会議
7月	七夕会・避難訓練 おらがまち・誕生会・終業式 歯磨き指導・プールの約束 プライベートゾーンの話	立腰研修・選択制保育実技研修 幹部会議・カンファレンス会議・委員長会議・アレルギー会議・委員長会議・給食会議
8月	避難訓練・誕生会 歯磨き指導・プールの約束 プライベートゾーンの話	防災計画・災害研修 幹部会議・カンファレンス会議・委員長会議・アレルギー会議・給食会議
9月	始業式・総合防災訓練 0・1歳児運動会・2歳児運動会 誕生会・幼児課運動会 うがい・手洗い指導・目の大切さ 鼻のかみ方・咳エチケット・怪我予防	個別指導計画・各日誌の書き方 総合防災訓練研修 幹部会議・カンファレンス会議・委員長会議・アレルギー会議・給食会議
10月	避難訓練・オータムキャンプ 誕生会・ハロウィンパーティー うがい・手洗い指導・目の大切さ 鼻のかみ方・咳エチケット・怪我予防	KYT 研修 幹部会議・カンファレンス会議・委員長会議・アレルギー会議・委員長会議・給食会議
11月	避難訓練・遠足・誕生会 不審者対応訓練・怪我予防 うがい・手洗い指導・目の大切さ 鼻のかみ方・咳エチケット	OURS 研修・嘔吐処理研修 幹部会議・カンファレンス会議・委員長会議・アレルギー会議・給食会議
12月	0・1歳児発表会・2歳児発表会 避難訓練・誕生会・幼児課発表会 終業式・クリスマス会 うがい・手洗い指導・目の大切さ 鼻のかみ方・咳エチケット 怪我予防	救命救急研修・母乳育児研修 給食研修 幹部会議・カンファレンス会議・委員長会議・アレルギー会議・給食会議
1月	始業式・避難訓練・誕生会 歯磨き指導・こころの話 耳のはたらき	エピペン研修・6つの楽習研修 マーチング研修 幹部会議・カンファレンス会議・委員長会議・アレルギー会議・給食会議
2月	節分会・避難訓練・誕生会・造形展 バディクラスフリー参観 プレイブクラスフリー参観 セージクラスフリー参観 歯磨き指導・こころの話 耳のはたらき	子どもの怪我の対応研修 幹部会議・カンファレンス会議・委員長会議・アレルギー会議・給食会議
3月	ひなまつり会・避難訓練・遠足 誕生会・卒園式・終業式 歯磨き指導・こころの話 耳のはたらき	環境整備研修 幹部会議・カンファレンス会議・委員長会議・アレルギー会議・委員長会議・給食会議

20. OURS baby (企業主導型保育所)

【定員】

- ・入所 114名
- ・一時預かり事業 8名

【運営方針】

保育・教育理念 Challenge 【学びに向かう力、人間性等】好奇心を持って挑戦する子
Global 【知識及び技能の基礎】いろいろな価値観を大切にできる子
Love 【思考力、判断力、表現力等の基礎】思いやりのある優しい子

教育・保育ビジョン 6つの遊びの体験から心を育てる

6つの edutainment(樂習)

遊びの基地	(冒険心)	立腰教育	(自立心)	表現遊び	(自尊心)
体育ローテーション	(挑戦心)	サイエンス	(イマジネーション)	音楽遊び	(協調心)

◆ 目標利用率

	2025 年度	2024 年度(見込)
入 所	78.0%	75.2%
一時預かり事業	240 人(延べ)	225 人(延べ)

◆ サービス提供方針

子どもの最善の利益を保証するために保護者との連携や、子ども一人ひとりの特性を理解することを重点に置き、保育所保育指針に基づき、乳児保育に関わる 3 つの視点及び 1 歳以上 3 歳未満児に関わる 5 つの領域から養護・教育を一体的に展開し、幼児期終了までに育ってほしい 10 の姿に繋がる学びや成長ができる保育の提供を目指す。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・保護者や子どものニーズに応える保育を提供し、子育て世代から選ばれる保育所を目指すと共に稼働率の向上に繋げる。
- ・提携企業と連携し、入所の対象となる子どもの人数を把握し、保育士等の適正な人員配置に努める。
- ・費用対効果を重点に置き、資源の有効活用や SDGsに取り組み、必要な経費と無駄な経費を常に検証し安定経営に努める。

◆ 人材育成と職場環境の整備

- ・教育訓練計画を作成し、計画に基づいた研修と、企業主導型保育事業実施要綱で定められているキャリアアップに向けた研修を受講し、資質向上に向けた取り組みを実践する。
- ・不適切な保育を未然に防ぐため、保育従事者へ人権擁護のためのセルフチェックを実施し、保育に対する振り返りの機会を設け、自己研鑽に取り組める環境を構築する。
- ・新たな保育管理ソフトを導入し、保育計画から保護者との連絡ツールなども ICT 化を進めることで業務省力化を図り、保育士が働きやすい職場を構築する。

◆ 地域社会への取組み

- ・子育て世代が安心して仕事と子育てが両立できるよう保育所の機能を最大限に提供し、誰もが仕事と生活の調和が取れた働き方ができる社会の実現に向け取り組む。
- ・太陽会や提携企業の従業者を確保するための取り組みに、保育所として可能な限り貢献していく。
- ・鴨川市と連携し、一時預かり事業や保育所利用枠（地域枠）で利用子どもを受け入れ、待機児童を未然に防ぐ取り組みを実践する。

◆ 修繕及び施設・設備整備

- ・園庭フェンス改修工事

◆ 行事及び会議等

- ・避難訓練及び消火訓練等は、毎月 1 回以上実施する。
- ・行事について
年間行事計画書を立案し、計画に則り実施する。
- ・保健について
保健計画書を立案し、計画に則り実施する。
- ・会議について
職員会議・給食会議・各種委員会等会議は、毎月 1 回以上実施する。

21. 家事代行サービス ルアナ

【事業種別および定員】

- ・IL 一般居室 409 室
- ・AL 介護居室 64 室

【運営方針】

「一人ひとりの、自由で豊かな暮らしを支える」という三井パークウェルステイトとしてのブランドコンセプトの一翼を担うべく、お客様の生涯の暮らしに家族のように寄り添い続け、様々なニーズにサービスを提供する。

◆ 目標契約数

	2025 年度	2024 年度(見込)
月 1 時間プラン	75 件	71 件
月 2 時間プラン	40 件	37 件
月 3 時間プラン	5 件	4 件
月 4 時間プラン	3 件	3 件
外出プラン	50 件	49 件
スポットプラン	15 件	14 件
売上実績(全プラン)	2,600,000 円	2,504,000 円

◆ サービス提供方針

- ・パークウェルステイト鴨川に常駐するスタッフが、ご契約者お一人おひとりのご希望に合わせて、安心して利用出来るサービスを提供する。
- ・介護プロアスタッフが家事代行サービスや訪問介護サービスを提供することで、将来介護プロアに移り住みとなった場合でも、不安や心配が軽減されるよう日頃からのコミュニケーションを大にし、良好な関係性を構築していく。
- ・できる限りレジデンス内でサービスが完結できるよう難しい業務依頼であっても「どうすれば対応できるか」を模索・検討し、契約に結びつける。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・無料サービス(お試しプラン)の実施等で、財源となる新規ご契約者の獲得を目指す。
- ・ご契約者に見合ったサービスプランを初回、または利用途中であっても随時提案し、快適な生活を送るための援助を行う。
- ・家事代行サービスの物品担当者を中心に、必要な道具や物品の在庫管理を徹底し、必要数のみを発注し、無駄となり得る物品を無くす。

◆ 人材育成と職場環境の整備

- ・太陽会スタッフが自費サービスとなる家事代行サービスを行うことの意義を、スタッフ間で意識し長く継続できるサービスとする。
- ・ご契約者ごとの契約内容をマニュアル化し、随時更新及び情報共有していく。
- ・今後も増員されるスタッフが多数予定されており、どのスタッフが実務にあたってもサービスの質の低下が発生しないようマニュアルを活かしながら教育を実施する。
- ・主となる介護フロア業務を圧迫しないよう、契約者数の推移を追いかながら、スタッフの配置等を協議する。

◆ 地域社会への取組み

- ・受診等、外出付き添いの頻度が高まっている現状があり、ルアナだけでは対応できない場合も今後想定されるため、市内の自費サービス事業所とも連携し、ご契約者にサービスが行き届かないことがないように環境を整えていく。

22. 労働者派遣事業サンキャリ 有料職業紹介事業サンキャリ

【事業および登録者数】

○労働者派遣事業

- ・派遣先：亀田総合病院、東条病院、鴨川国保病院、ラビドール御宿、ホームケアバナナ、花の里
- ・派遣登録者：日本語学科 10名
介護福祉学科 40名
2025年3月卒業者 5名

○有料職業紹介事業

- ・外国人留学生(介護福祉学科)を対象とした有料職業紹介事業は、本年度は紹介する人材がないため、事業利用人数はなしと予定する。

【運営方針】

安房医療福祉専門学校南房総校と連携を密にし、海外からも安心して学校を留学先として選んでもらえるしくみをつくることで、介護人材を育成し派遣することで地域に貢献する。

また、派遣労働者を大切にし、長く働いていただくことで、本会の人財育成費用の負担を軽減する。

◆ 良質なサービス提供への取組み

教育の充実

- ・派遣する者に、業務を行う上でのルールを定め教育し、安心で良質なサービス提供を行う。
 - 個人情報の取扱いの徹底
 - 接遇(言葉遣い、所作、指導の受け方)
 - 施設内の物品の取扱い
 - コミュニケーション
 - チームワーク
 - 日々の体調管理および感染対策

◆派遣目標

(派遣地域)

実人員

	2025年度	2024年度(見込)
鴨川市	17	13
南房総市	2	1
御宿町	2	0
その他の地域(県北)	1	0

(雇用形態別派遣者数)

	2025 年度	2024 年度(見込)
アルバイト 日本語学科生	2	0
介護福祉学科生	15	12
正職員	5	2

◆財務基盤の強化へ向けた取組み

派遣手数料の設定

- 育成にかかる以下のような負担を、派遣業で回収し、本会の人材育成事業を持続可能な取り組みとする。
 - 留学生確保のための海外の紹介事業者への紹介料
 - 学生寮の整備
 - 日本語学科学費、寮費のための奨学金制度(3年間勤務により返済免除)
 - 学校への通学バス運行費用
 - アルバイト先への送迎費用

◆適正人員に向けた取組み

派遣労働者の離職防止

- 職場環境の整備
 - 24時間365日相談窓口の設置
- 情報発信
 - 広報誌やSNS等による情報発信
- 定期的な面談
 - 4ヶ月に1度の面談実施
- その他
 - 交流会(食事会)の開催
 - 教育の充実
 - 評価制度の導入

派遣事業を扱えるスタッフの育成

- 派遣事業者免許の更新による、事業の継続

23. パークウェルステイト鴨川

【事業種別および定員】

- ・IL 一般居室 409 室
- ・AL 介護居室 64 室

【運営方針】

一時的な疾病時の介護・看護はもちろん、万一、當時介護が必要になった場合には、レジデンス内に介護フロアがあり、介護・看護スタッフが24時間見守る介護居室にて行き届いたケアサービスを提供する。住み慣れた「パークウェルステイト鴨川」からお引越しいただくことなく、将来にわたりお支えする。

また、一般居室から介護居室に移り住みになった場合でも、いままでの生活を重視し、その人らしい生活が維持できるようレジデンス全スタッフで専門性の高いサービスを提供する。

【重点項目】

◆ 目標利用率

	2025 年度	2024 年度(見込)
AL 介護フロア(一時静養室含む) (%)	54%	43.8%
IL 特定契約者 (人)	4	1

◆ サービス提供方針

- 一人ひとりの、自由で豊かな暮らしを支える“シニアのためのサービスレジデンス”
- 10 年後も 20 年後も、災害などの万が一のときも、守ってくれる安全なすまい
 - ・健やかな心身が保てる快適さと、豊かな気持ちになれる上質さに包まれた暮らし
 - ・習慣やこだわりなど、これまでと変わることなく自分のスタイルで、暮らしたいように暮らせる自由な暮らし
 - ・一人になったら、病気になったら、介護が必要になったら…これらの不安から解放された、最後まで安心が続く暮らし

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・1.5:1 以上の手厚い人員配置を継続させるため、三井との定例会議の開催、および無理のない増員計画を実施する。
- ・介護人材不足の問題が今後さらに加速していく中で、外国人雇用が可能となるよう継続的に三井に提案する。
- ・レジデンスでの自費サービス(家事代行サービス)を、長く提供できるようスタッフの教育・サービスの柔軟性を持って取り組む。

◆ 人材育成と職場環境の整備

- ・安全を最優先に、看護・介護の質を高める教育を実施する。
- ・今後は新人スタッフの受け入れも可能とし、教育マニュアルを整備する。
- ・パークウェルステイト鴨川だからこそ出来る個別性の高いケアやサービスを構築する。
- ・個別性の高いケアを他施設でも実践できるよう、将来的にスタッフのローテーションを実施し太陽会として質の高いサービス基準を獲得する。
- ・現在働いているスタッフを大切にし、職場環境を整備し離職防止に努める。
- ・日頃からのコミュニケーションを大切にし、いつでも相談できる環境、なんでも言い合える関係性を構築する。

◆ 3階フロアオープン準備

- ・三井との協議にて、2025年7月に3階フロアオープンとする。
- ・開業から3年間の経験を活かし、設備や備品等しつらえただけではなく、機能性も考慮した上でアイテムを選定する。
- ・様々な想定をした上で、根拠を持ってスタッフの増員計画を立て、IL一般居室・AL介護フロア共に安定したサービスの提供に努める。
- ・新しいスタッフが増えていく中で、サービスの質が低下しないよう役職者を中心にしっかりとした教育を実践していく。
- ・スタッフ数が増えていく中で、日々の情報共有が漏れることなく周知できるよう組織を形成する。
- ・見守りシステムやインカムなど、ICTを活用した働き方に移行することでご入居者・ご家族の安心・安全につながるケアとなるよう働きかける。

◆ 地域社会への取組み

- ・移動販売やイベント開催など、地域資源を活用しご入居者の満足度向上と地域との結びつきを形成する。

◆ 行事及び会議等

- ・三井の企画チームとも連動し、月に1回以上イベントを開催する。IL一般居室ご入居者と一緒に参加できる催しにも希望に合わせ参加していく。
- ・レジデンスにある資源（屋上庭園、カラオケルーム、ホールなど）を活用し、部屋にこもらずアクティブな生活を送れるよう支援する。
- ・法令で定められている会議体を主に、レジデンスで働くすべてのスタッフ対象に定期的に実施していく。

24. 亀田ホームクリニック幕張

亀田ホームケアサービス幕張

【三井不動産レジデンシャルウェルネス株式会社 コンセプト】

豊かな自然に彩られ、都市の利便性にも満たされる街、幕張新都心に首都圏最大級のシニアサービスレジデンスが誕生。多彩な共用施設は中庭や外庭に面する緑に包まれた空間とし、敷地内どこにいてもゆったりとした時間をお過ごしいただけます。

【パークウェルステイト幕張ベイパークの概要】

1. 所在地 千葉県千葉市美浜区若葉 3-1-23

2. 名称/用途 パークウェルステイト幕張ベイパーク / 住宅型有料老人ホーム

3. 住居者数 約 738 名

4. 定員 自立居室 534 室 (200 室, 255 名)

介護居室 83 室 (4 室, 4 名)

計 617 室

()内は 2025 年 2 月末現在の実入居者数

【運営方針】

三井不動産レジデンシャルウェルネス株式会社が運営する「パークウェルステイト幕張ベイパーク(2024 年 9 月 1 日開業)」内に、クリニックと介護保険関連の事務所を開設し、ご入居者をはじめ、地域住民の皆様に向けて、安心して末永く暮らせるようなサービスを提供する。

【クリニックの業務内容】

パークウェルステイト幕張ベイパークのご入居者に向けて、健康管理や健康相談等をサポートし、いつまでも安心して住み続けられるように医療を提供しつつ、地域にお住まいの方々への地域医療にも貢献する。

1. 名称 亀田ホームクリニック幕張

2. 標榜科 内科／小児科

3. 診察時間

	月	火	水	木	金	土・日・祝
8:45～10:00	入居者優先時間					—
10:00～12:00	○	○	○	○	○	—
13:30～15:00	○	○	○	○	○	—
15:00～17:30	○	○	—	○	○	—

4. 業務内容

1) 一般診療

2) 健康診断

入居前健康診断、入居者基本健康診断、千葉市特定検診

千葉市がん検診(胃がんリスク、大腸がん、肝炎)

3)予防接種

千葉市小児定期予防接種、千葉市高齢者定期予防接種

各種予防接種事業(インフルエンザ、コロナ、肺炎球菌など)

		2025 年度(目標)	2024 年度(見込)
外来 (カッコ内は 1 日平均)		9,600 名 (40 名)	2,418 名 (17.6 名)
健診・検診		70 名	20 名

【亀田ホームケアサービス幕張の概要】

パークウェルスティート幕張ベイパークのご利用者を中心に、介護保険を中心とした事業を展開し、いつもそばで見守りが出来るような体制を整え、いつまでも安心して住み続けられるように、介護支援専門員、看護や介護が協働してサポートする。

1. 事業内容

○有料老人ホーム介護棟での見守り相談サービス(介護・看護・相談)

○介護保険サービス

2. 保険サービス区分別目標

1)居宅介護支援(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介護	12	13	14	15	16	17	24	24	24	24	24	24
予防	5	5	5	5	5	5	6	6	6	6	6	6
計	17	18	19	20	21	22	30	30	30	30	30	30

2)訪問介護(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介護	7	8	9	13	13	18	18	18	18	25	25	25
総合事業	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3
計	9	10	11	15	15	20	21	21	21	28	28	28

3)訪問看護(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介護	看 2 リハ 1	看 2 リハ 2	看 3 リハ 3	看 3 リハ 4	看 3 リハ 4	看 4 リハ 5	看 4 リハ 5	看 5 リハ 6	看 6 リハ 7	看 7 リハ 8	看 8 リハ 9	看 9 リハ 10
医療	1	2	2	2	2	3	3	3	3	3	4	4
計	3	6	8	9	9	12	12	14	16	18	21	22

4)定期巡回・随時対応型訪問介護看護(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介護	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	15